

医療法人社団 紫苑会 理念 あなたを支えたい、そして笑顔に出会いたい。

今までの大事さと今の大切さと今からの期待と責任と

何か新しいことを始める時、また、起きようとしている時皆さんはどういったことを思われながら迎えようとされるのでしょうか。

例えば、入学式の際これからのドキドキ・ワクワクする気持ちを抑えながらその瞬間を迎えられるのでしょうか。ただその気持ちがすべてではないはずです。卒業式での思いがあり、恩師・同級生に感謝する気持ちもあるでしょう。今この瞬間の初心を忘れないように刻む方もいるでしょう。これから起こるであろうさまざまな経験を想像しながら、自分の可能性に武者震いされる方もあるでしょう。大げさに言えば、大なり小なり人生のいたるところにそのような場面がみられるような気がします。

今まで歩んできた道のりには、どのような状況であれその意味は必ずあると信じていますし、大事にしなければ、経験にしなければならないと思います。継続的に続く『今』という瞬間はその重要さに気づき、大切にしなければいけないと考えます。これが若輩者の私にはなかなか難しい。これからの私自身への期待は脈略はないですが常に持つ努力はしたいですし、それに対しての責任が増すこともあるであろうとも感じます。これは家庭であれ職場であれ想うことです。

さて、法人が持つそれぞれの機能が、4月には1つの医療・介護機能としてスタートを切ろうとしております。今まで培ってきた田中クリニック、いきいきリハビリテーション病院というそれぞれの道のりを大事にし、経験として『今』という瞬間を迎えられていることを、地域資源として利用していただいている方々・職員をはじめ関わっていただいている方々に感謝し、これからについても、地域資源として期待・選択されるよう、その責任を法人として果たしていくために職員一丸となって進んでいければと考えます。

どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



追伸ですが、
今までの小さくてかわいい院内保育室が、
大きくてかわいい院内保育室に変身致します。
ここでも新しいことが起きようとしています。
重ねてよろしくお願いいたします。

事務部長 辰巳 剛

◆Contents◆

- ☆事務部長より ☆認定証 ☆作業療法科の紹介 ☆ワンポイントアドバイス
- ☆看護部e-ラーニング ☆出前講座 ☆高山Dr.コラム ☆健診センター

リハビリテーションの充実を目指して！



当院は、「社団法人日本リハビリテーション医学会研修施設」に認定されています。研修施設として認定を受けるためには、日本リハビリテーション医学会が認定する「リハビリテーション科専門医」が指導責任者として常勤し、専門医制度卒後研修カリキュラムに基づく研修を行っていることです。

現在、富士圏域では「いきいきリハビリテーション病院」のみ認定を受けています。

部署のご紹介

こんにちは！ リハビリテーション部作業療法科です♪



作業療法ではいろいろな作業や活動を使って訓練を行います。作業療法の「作業」は食事や排泄など日常生活の諸活動に加え、家事動作や家庭内での仕事、手工芸や木工、音楽やゲーム、趣味の活動など、みなさんが行う全ての活動を指します。それらの「作業」を通じて、楽しみながら訓練をしていきたいと考えています。こんなことをやってみたい、などありましたら是非ご相談ください。皆さんと一緒に考え、実現していきたいと考えます。

作業療法士 青島広明



ワンポイントアドバイス♪

「あなたは何から食べますか？」



野菜を最初に食べると「血糖値が上がりにくい」とか「ダイエットに効果がある」など、テレビでも話題になっています。これは本当の話です。同じメニューでも野菜を先に食べると、野菜に含まれる食物繊維が腸での糖の吸収を抑えるので、食後の血糖値の上昇がゆるやかになります。最初に食物繊維をよく噛むと満腹感が増し、ご飯の量が減るのでダイエットの効果も上がります。

ところで、血糖値が健診などの結果で正常だから「大丈夫！」と思っていませんか？健診の空腹時血糖値は正常でも、食後に高血糖になる「隠れ糖尿病」の人が増えています。「隠れ糖尿病」は、気づかぬうちに、いつのまにか重度の糖尿病に進行してしまう危険もあり、高血圧や肥満などが合併すると心筋梗塞や脳梗塞の危険がいっそう高まります。

食後の高血糖を防ぐ為、最初に「たっぷりの野菜」、次に「肉や魚などのタンパク質」、最後に「ご飯などの糖質」の順番で食べましょう。

管理栄養士 佐野直美

看護部 e-ラーニング 私たちと一緒に学んでみませんか♪

一人ひとりを尊重し、看護の心と技術を育みます。

自らが学び成長できるように支援しています。

当院の看護部職員構成は、20代から60代と幅広い年代です。子育て中のパートの看護師も多く、今までは勤務時間外に研修を開催していたため、参加者が限られてしまい、研修出席率も向上が難しい状態でした。しかし、平成24年度、現任教育の一環として「学研ナースングサポート」を導入し、受講を開始しました。ビデオオンデマンドによる研修時間は勤務時間内に設定し、同じコースを1日2回開催しています。それでも出席できなかったコースについては、自宅で受講できるようになっており自分の生活に合わせることができます。受講者はもちろんのこと、院外研修になかなか時間を取れない看護師にとっても良い学習の場となっています。また、リハビリテーションはチーム医療が大切です。これらの研修は院内の多職種の職員も受講できるようになっており大変好評です。今後も開催時間、方法など検討し発展させてゆきたいと考えています。



学研ナースングサポート第5号

(2012年11月1日発行)に当院が掲載されました



研修場所は院内！
勤務時間内で
研修が受けられます



「法人出前講座」のご案内

私ども紫苑会では、市民の皆様（小グループでも対応いたします）のご要望に対して、出張して医療・健康に関する講座、勉強会を行う「出前講座」を企画しております。ご要望がございましたらお気軽にお問合せください。（連絡先：医療連携室 山中良二）

～ 統合へのメッセージ ～

何度も語りかけています。法人は3つの大きな目標掲げていると。3つとは、医療・介護の姿として、地域の中核医療施設となる、圏域の中核リハビリ施設となること。職員対応としては、やる気のある職員に継続勤務が可能となる環境を提供し続けること。経営姿勢としては、継続的発展をとげる経営を実践すること、です。

本号では、我々が現在行なっている「継続勤務が可能となる環境」への模索をお伝えします。

法人は職員アンケートを行い、職員が求める職場像を調査しました。そこで子育て世代の方々から指摘されたのが、保育施設の充実でした。法人は8名の定員の保育施設をもっていました、手狭で定員増ができませんでした。その要望に対する答えとして、現在、定員を20名まで増員した新たな保育施設を建築中であります。補助金を頼りにした建築ではありません。自助努力として建築を行なっています。

また、看護部の教育企画として e-ラーニング(学研ナースングサポート)を今年度、導入しました。「研修コースは用意するけれどそれに使う時間は自分の時間で下さい」という病院も多いです。しかし、我々はそういったスタンスをとらず、皆さんの多忙は承知しつつも、「学ぶことは仕事である」という姿勢を打ち出し、勤務時間での講習時間確保に努力する看護部を支持しています。職場で学び、スキルアップができることは、継続勤務の基本であると確信しているからです。

これは違うアプローチになりますが、残念なことに離職されることになった職員の方から、職員の本音を聞かせていただく機会を持ちたいと対応し続けています。職場の問題点を、「辞めるからこぞ言える」という状況で聞き取らせていただいています。当法人は問題点を放置することなく、できる限りの努力を続けていく決意を持っています。

こういった本気の姿勢を信頼して頂き、法人と一緒に作りあげていきましょう。

田中クリニックといきいきリハビリテーション病院の統合は目前です。

副理事長 高山吉弘



田中クリニック健診センターです♪

当センターでは、様々な種類の健康診断や人間ドック・脳ドックが受けられます。
「健康は宝」です。その大切な健康を守るため年に一度は健康診断を受けましょう。

超音波検査



眼底眼圧測定検査



心電図検査



◆上下部内視鏡検査室
明るく清潔な内視鏡検査室。
胃も大腸も検査できます。



◆健診休憩室
清潔な健診着で気持ちよく。
終わったあとにお茶やお菓子どうぞ！



ご意見・ご要望・その他お問い合わせは下記までご連絡ください。



医療法人社団 紫苑会

いきいきリハビリテーション病院

〒419-0205 静岡県富士市天間1640-1

TEL 0545-73-1919

FAX 0545-73-1916

フリーダイヤル：0120-191-719

URL <http://www.iki-iki-hp.com>

田中クリニック・田中クリニック健診センター

〒419-0202 静岡県富士市久沢1652-1

TEL 0545-71-0160

FAX 0545-71-0950

E-mail jinja@iki-iki-hp.com